

# これからの卒業研究について

滝沢 光介

富山県立大学 電子情報工学科

April 16, 2021

## 背景

近年、コロナウイルスの影響から売り手市場で会った就活情勢が買い手市場にシフトしつつある。そこで学生は就職を希望する会社に入社するにはその会社が求める人材になるために効率的に勉強を行う必要がある。

## 目的

過去の卒業生の就職先や成績などのデータベースからクラスタリングを行い、その学生がどうしても希望する企業に効率よく就職できるかのフィードバックを行う。また、学生が希望する企業の分析も行い、より細かいフィードバックを行えるようなシステムを作成する。

卒業後、就職したい企業は決まっているが  
その企業に就職するために何を学べば効率が良いかわからない

クラスタリング分析を行い、就職のために  
学生がやるべき勉強をアドバイス

自分の取り組むべきことがはっきりと理解でき  
モチベーションアップに繋がる

図 1: システム完成目標

## 現在考えている機能について

- 目標とする企業を指定し、過去の学生の成績や行動を分析
- 目標とする企業を指定し、その会社のホームページなどからその会社がどのような分野を重要視しているかを分析



これらの分析結果から学生がどの分野、どの勉強を行えば効率的にその企業へ就職できるかをフィードバック

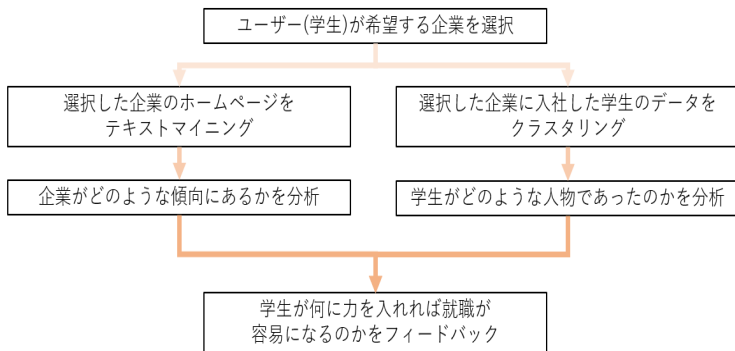


図 2: システム全体の流れ

## 学生データ

学生データに関しては、本物のデータを扱うことは出来ないのでデモデータを作成する。扱うデータはSQLで作成しようと考えている。

## 企業データ

企業データに関しては、各企業のホームページからデータを取得しようと考えている。とりあえずは学生データを優先していきたい。

## 進捗

- 研究の方向性が決定した

## 今後の課題

- デモデータの作成
- 先行研究の調査
- クラスタリングの手法の決定
- 企業データの扱い方について
- 本研究の有効性の評価をどう行うかを考える